

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2026.04.No344

4月号

目次

会長再任のごあいさつ	1
特集 定時総会報告	2
一級・二級建築士試験合格者の声	4
西から東から「旭川のまち」	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



会長再任のごあいさつ

一般社団法人北海道建築士会 会長 本間 恵美

各地から桜の便りが届き、春の訪れを感じるこの頃です。会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、当会事業へのご参加とご協力に心より感謝申し上げます。

この度、3月19日の定時総会、その後の理事会におきまして会長に選出されましたので、一言ご挨拶をさせていただきます。2年前に会長に就任し、二期目の再任となりました。引き続き当会の運営にご支援とご協力をお願いいたします。

昨年の総会で可決された会費の改正により、今年から値上げをしました。皆様にはご負担をおかけしていますが、会の健全な運営のためご理解いただきますようお願いいたします。

会費の改正をするにあたり、2年前にタスクフォースを立ち上げて、経費や運営体制等の見直しを行っています。今年は役員改選の年ですので、理事会の体制を見直してスリム化を図り、理事の人数を3名削減しました。また、定款の改正としては、会員の種別における代議員の人数について、正会員80人の中から1人の割合を、100人に1人に改定しました。これらは、交通費等予算の削減につながります。次に、これまで、「北海道内に住所を有する」ことが当会会員の条件でしたが、今回削除しました。これにより、北海道外に転勤等で住所が変更になった場合でも、退会することなく継続して当会の会員で活動できるようになります。

1月号の新年のごあいさつでも触れましたが、支部単位で行っていた活動を、近隣の支部と協同で開催したり、ブロック単位で活動することも視野に入れて、どのようなことができるのか支部の意見も聞きながら考えていきたいと思っております。そこで今年に2回だったブロック会議を3回に増やしました。

2月に、各委員長の顔合わせのWeb会議を行いました。今期の委員長に本部理事会の年間予定等を

説明した後、各委員長からは、今年の活動についての説明をしていただきました。委員会相互の情報交換や、各委員会への提案や要望、一緒に何か活動しましょうなどなど、和気あいあいとした雰囲気で行いました。各委員会共、とても有意義な活動を企画して楽しんでます。

経費削減案として、全道大会の開催を見直すご意見もいただいておりますが、今のところ、隔年開催や廃止は考えていません。これは、今後経費削減の面から内容について見直す部分も必要であると思っておりますが、会員が支部の垣根を越えて集い交流できる場が、唯一全道大会だけとなっているためです。今年は、札幌支部が色々と企画をしているようです。

又、(仮称)北海道建築士会シニアクラブの企画が始まります。これから具体的に決まっていくと思っておりますが、シニア層の皆様にはうれしいことです。

建築士会連合会女性委員会で行ったアンケートでは、建築士会にメリットを感じていないのは活動に参加していない人に多く、参加している人はメリットを感じています。様々な活動に積極的にご参加ください。建築士会の良さがわかります。

今年度より副会長は、針ヶ谷拓己さんと菊地義紀さんです。専務理事に佐藤芳則さん、ブロックの統括理事には、道央・安保貴弘さん、道南・中原茂人さん、道北・石谷勝則さん、道東・鈴木徹さんです。常務理事には、高橋幸二さん、丹波泰哉さん、松本純さんの男性3名と工藤美智子さん、岩崎美乃さんの女性2名になりました。監事には久島正嗣さんと大田幸広さんです。会員の皆様をはじめ、各支部長、副会長、専務理事、理事、監事、各委員会、そして事務局の皆様にご協力をいただきながら、魅力ある建築士会を目指していきたいと思っております。

令和8年定時総会報告

定時総会開催

令和7年事業報告及び収支決算、定款の改定承認 ～役員改選、本間会長再任、7名の理事が新任～

日 時：令和8年3月19日(木) 14時00分～17時00分

会 場：ホテル札幌ガーデンパレス 2F 丹頂
(札幌市中央区北1条西6丁目)

出席者：代議員35名中27名出席



提案事項 (定時総会の目的である事項)

- 〔議案第1号〕
令和7年 一般会計事業報告及び収支決算 (案)
- 〔議案第2号〕
令和7年 特別会計事業報告及び収支決算 (案)
(監査報告)
- 〔議案第3号〕 (一社)北海道建築士会定款の改正 (案)
- 〔議案第4号〕 役員改選について

議案第1号～4号の主だった内容は以下のとおり

〔議案第1号〕

◆令和7年 一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務・企画委員会

- ・組織運営の適正化等に係る対応
組織運営の見直しと会員増強、支部の連携強化、財政基盤の強化
- ・関係機関との意見交換会等の実施
北海道公共建築設計懇談会、全道確認円滑化対策連絡協議会
- ・建築関係団体との連携
東北ブロック会・青函檜交流会、北海道建築設計会議対応
- ・全道大会 (中標津大会) 9月27日(土)
- ・全国大会 (大阪大会) 9月19日(金)
- ・表彰の実施
会長表彰の実施・連合会会長表彰の推薦

◎ 事業委員会

- ・「既存住宅状況調査技術者講習」
対面講習
新規 札幌会場 受講者 1名
更新 札幌会場 受講者 5名
オンライン (新規・更新) 受講者 37名
- ・「中大規模木造設計セミナー」
札幌会場 受講者 7名
- ・「建築士がマンションの未来を変える大規模修繕「修繕の心得」」
札幌会場 受講者 5名

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(329号～341号発行)
- ・ホームページの運用

◎ まちづくり委員会

- ・地域におけるまちづくり活動の推進と支援
まちづくりフォーラム (網走市) 6月14日(土)
景観まちづくり塾 (札幌市) 10月18日(土)
- ・高校生建築デザインコンクールの実施
- ・高校生建築甲子園の実施
- ・景観整備機構の運営

◎ 災害対応委員会

- ・被災地応急支援ネットワークの構築
- ・応急危険度判定の普及及び訓練への参加

- ・応急危険度判定講習会の講師登録制度の運用
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・防災セミナー (札幌市) 12月19日(金)
- ◎ 青年委員会
 - ・全道青年委員会連絡会議 3月29日(土)
 - ・青年建築士の集い (上富良野) 5月24日(土)
 - ・ブロック協議会活動の展開
 - ・「建設産業ふれあい展」への出店
1月11日(土) 12日(日)
- ◎ 女性委員会
 - ・勉強会・見学会を含めた活動を支援
 - ・全道の女性会員とのネットワークづくりの活動
 - ・広報誌の編集
 - ・インスタグラムの運営「北海道建築士会 女性委員会」
 - ・女性建築士の集い 6月28日(土)
 - ・講演会「すすきの遊郭顛末記」 9月4日(木)
- ◎ 会員増強特別委員会
 - ・建築士会の会員増強と組織の強化
- ◎ ヘリテージマネージャー特別委員会
 - ・北海道ヘリテージマネジメント専門職育成講座 計12回
 - ・歴史的建造物の調査 (歌志内市)
 - ・第1回フォローアップ講習会 in 開拓の村
8月2日(土)
 - ・第2回フォローアップ講習会 in 紋別
11月22日(土) 23日(日)
- ◎ BIM推進特別委員会
 - ・オンラインセミナー「doBIM」 計2回
 - ・ハンズオンセミナー 函館市・北見市開催
 - ・Revit版寺小屋 9月12日(金)
 - ・道内建築団体と連携したBIMの普及支援

『事務局所管事項』

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

区 分		受験者数	合格者(合格率)
二級	学科	712	218名 (30.7%)
	製図	345	149名 (43.7%)
木造	学科	6	1名 (16.7%)
	製図	1	1名 (100%)
一級	学科	801	186名 (10.7%)
	製図	240	74名 (30.8%)

- ・一級建築士登録等の業務
新規 43件 事項変更等 110件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 137件 事項変更等 168件
- ・応急危険度判定士認定業務 認定者数 2,406名
応急危険度判定士認定講習会
5会場開催 受講者 134名
WEB講習 受講者 13名
- ・建築士定期講習
9会場開催 受講者 431名

- ・ 監理技術者講習
3会場開催 受講者 46名
- ・ 「第56回建築基準法講習会」開催
20会場 受講者 1,387名
- ・ 「木造軸組工法中大規模木造建築の構造演習」開催協力
- ・ 「建築BIMマネージャー・コーディネーター育成のためのセミナー」開催協力

「議案第2号」

◆令和7年 特別会計事業報告

- ・ 北海道建築士会地域貢献活動センター事業報告
- ・ 地域貢献活動基金事業助成申請 0件

- ・ 地域貢献活動事業の周知及び広報

「議案第3号」

◆(一社)北海道建築士会定款の改正(案)

- ・ 第7条(会員種別)における「北海道在住」を削除
- ・ 第7条(会員種別)第2項代議員について「正会員80名」の中から1人の割合を「正会員100名」に改める

「議案第4号」

◆役員の変更

任期満了に伴う役員の変更が行われ、令和8・9年の役員として、理事20名、監事2名が選出された。

令和8・9年 (一社)北海道建築士会 役員名簿

役職	支部名	氏名		役職	支部名	氏名		役職	支部名	氏名	
会長	小樽	本間 恵美	再任	副会長	札幌	菊地 義紀	新任	副会長	札幌	針ヶ谷拓己	再任
専務理事	札幌	佐藤 芳則	新任	常務理事	日高	高橋 幸二	再任	常務理事	札幌	工藤美智子	再任
常務理事	千歳	丹波 泰哉	再任	常務理事	札幌	松本 純	再任	常務理事	函館	岩崎 美乃	再任
統括理事	恵庭	安保 貴弘	新任	統括理事	苫小牧	中原 茂人	再任	統括理事	旭川	石谷 勝則	新任
統括理事	十勝	鈴木 徹	再任	理事	日高	亀田 誠	新任	理事	小樽	林 昌宏	再任
理事	釧路	前田 繁	再任	理事	札幌	永井 雅規	新任	理事	上富良野	土田 浩貴	再任
理事	釧路	加藤 寛基	新任	理事	札幌	新海 直美	新任				
監事	札幌	久島 正嗣	新任	監事	旭川	大田 幸広	新任				

貸借対照表

令和7年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,440,035	79,310,154	11,129,881
未収金	5,022,371	6,079,411	△ 1,057,040
貯蔵品	76,907	201,759	△ 124,852
立替金	918,250	246,380	671,870
前払費用	1,247,123	782,249	464,874
流動資産合計	97,704,686	86,619,953	11,084,733
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,568,386	6,042,683	525,703
財政調整資金積立預金	46,663,697	46,927,116	△ 263,419
大会積立資産	300,214	200,002	100,212
特定資産合計	53,532,297	53,169,801	362,496
固定資産合計	53,532,297	53,169,801	362,496
資産合計	151,236,983	139,789,754	11,447,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	5,002	313,491	△ 308,489
前受金	6,509,750	5,945,900	563,850
前受会費	27,611,200	21,502,000	6,109,200
預り金	1,196,687	1,168,075	28,612
流動負債合計	35,322,639	28,929,466	6,393,173
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,568,386	6,042,683	525,703
固定負債合計	6,568,386	6,042,683	525,703
負債合計	41,891,025	34,972,149	6,918,876
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	109,345,958	104,817,605	4,528,353
(うち特定資産への充当額)	46,963,911	47,127,118	△ 163,207
正味財産合計	109,345,958	104,817,605	4,528,353
負債及び正味財産合計	151,236,983	139,789,754	11,447,229

収支計算書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科目	予算	決算	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	68,998,000	68,123,750	△ 874,250
事業収入	27,157,270	25,412,199	△ 1,745,071
受託収入	20,934,800	16,388,265	△ 4,546,535
助成金収入	38,847,880	5,014,626	△ 33,833,254
雑収入	20,025,647	20,746,400	720,753
事業活動収入計	175,963,597	135,685,240	△ 40,278,357
2. 事業活動支出			
事業費支出	122,283,575	104,789,501	△ 17,494,074
講習会等費支出	7,458,000	6,733,734	△ 724,266
二級・木造建築士登録等業務支出	1,261,000	856,723	△ 404,277
継続能力開発制度費支出	482,000	481,439	△ 561
専攻建築士制度支出	188,000	172,525	△ 15,475
その他事業支出	9,036,861	7,475,706	△ 1,561,155
広報・情報費支出	8,264,000	7,302,965	△ 961,035
大会関係諸費支出	2,337,200	625,025	△ 1,712,175
委員会活動費支出	14,594,000	10,011,415	△ 4,582,585
人件費支出	22,290,960	21,545,280	△ 745,680
受託事業費支出	8,794,000	4,275,824	△ 4,518,176
助成金支出	4,861,600	4,312,253	△ 549,347
需要費支出	23,343,400	21,196,862	△ 2,146,538
雑支出	19,372,554	19,799,750	427,196
管理費支出	67,092,000	25,841,683	△ 41,250,317
人件費支出	3,822,000	3,796,487	△ 25,513
会議費支出	2,343,000	1,915,792	△ 427,208
旅費交通費支出	5,825,000	4,256,136	△ 1,568,864
需要費支出	2,217,000	1,770,297	△ 446,703
対外費支出	2,857,000	2,131,967	△ 725,033
雑支出	87,000	14,304	△ 72,696
連合会費支出	49,941,000	11,956,700	△ 37,984,300
事業活動支出計	189,375,575	130,631,184	△ 58,744,391
事業活動収支差額	△ 13,411,978	5,054,056	18,466,034
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	1,124,080	1,556,480	432,400
財政調整積立資産取崩収入	1,124,080	1,556,480	432,400
投資活動収入計	1,124,080	1,556,480	432,400
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	940,000	1,918,976	978,976
投資活動支出計	940,000	1,918,976	978,976
投資活動収支差額	184,080	△ 362,496	△ 546,576
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	22,739,850	0	△ 22,739,850
当期収支差額	△ 35,967,748	4,691,560	40,659,308
前期繰越収支差額	35,967,748	57,690,487	21,722,739
次期繰越収支差額	0	62,382,047	62,382,047

～新たな建築士たちの合格の喜びを特集しました～

一級建築士試験を終えて

三浦 雛 (札幌支部)



初めまして、北海道建築士会札幌支部の三浦雛です。この度、念願の一級建築士試験に合格でき、大変嬉しく思います。寄稿依頼をいただきましたので、恐縮ではありますが寄稿させていただきます。

私はもともと現在とは異なる分野への進路を考えておりましたが、建築の実務に携わっているうちに、この業界で歩いていくことを決意いたしました。当時は二級建築士の受験資格がなかったため、平日は仕事をしつつ、週末には大学に通うという生活を続けていました。大学を卒業後、資格学校の製図教室に通い、無事二級建築士の資格を取得しました。その後、資格学校の方に一級建築士を勧められ背中を押されるような形で一級建築士を目指すことになりました。

一級建築士試験に挑んだのは3回で、最後は角番でしたので、なんとか合格したいという気持ちでした。1回目は学科からでしたので、名前や受験番号を書き忘れていないか、回答がズレていたらどうしよう等の不安が学科の結果発表を待つ間ずっと続いていました。その中で製図試験の勉強を進めるという苦しい時期を過ごしました。製図試験の勉強は私にとって学科とは全く異なり、とにかく時間が足りないという焦りや、エスキスが上手くできないといったことで本当に苦しめられました。製図試験当日は試験中に大きなミスに気づき、直すことのできないまま時間がきてしまいま

した。帰り際には製図教室の同期の方が試験会場に落としていったガムテープを拾って「私の図面も拾ってもらえないかな」と、とりとめのないことも考えていました。

2回目は、1回目の時とは違い、勉強する期間が長かったため、知識をつけることはできたのですが、やはり時間はギリギリといった感じで、1回目と同じく不安の中エスキスや図面を描いていました。

3回目は角番ということでしたが「3回目なのだから大丈夫」、「今回不合格だったらまた学科からのだから思いっきりやろう」と自分を励まして前向きな気持ちで勉強するようにしていました。試験当日は不思議とあまり緊張していなかったと思います。

振り返ってみるとこの3年間、就寝場所のほとんどが机と椅子の上になったりと、すっかり生活リズムが変わってしまったと感じます。

大変な3年間でしたが、家族や職場、製図教室の講師の方々などの周りの方々からの支えや、同期の方たちと協力しながら勉強できたこと、毎月の建築士会の青年委員会に参加できるときは参加させてもらって、応援や励まし等をしていただき、ここまで頑張れたと感じます。

一級建築士としては歩み始めたばかりで、やっとスタートラインに立てたという段階なので、これからは建築士としての勉強に励みながら成長していきたいと考えています。建築士としては二級建築士の頃からお世話になっておりましたので、改めまして、建築士の一員としてこれからもよろしく願いいたします。

一級建築士試験合格までの道のり

沖津 龍輝 (釧路支部)



この度、令和7年度一級建築士試験に合格しました沖津龍輝と申します。

私は、一級建築士である父がきっかけで自分が関わった建物が残り続けるという魅力に惹かれ、建築を志すようになりました。大学在学中には自分も一級建築士になりたいと思うようになり、大学二年生の冬から学科の勉強を始めました。建築の知識は大学で学んだ知識しかなかったため、はじめはテキストや法令集の内容の難しさに圧倒され、「自分は一級建築士になることができるのだろうか…」と何度も心が折れそうになりました。ですが、テキストや法令集を読み返し、問題集や過去問を繰り返し解いていくうちに正答率が上がり、少しずつ自信が持てるようになりました。

大学を卒業し、社会人一年目の夏、初めて学科試験を受験しました。いくつかが不安は残るものの試験時間6時間30分をなんとか乗り越えることができました。合格圏内だったため学科試験後、休む暇もなく約2か月後に控えた製図試験の勉強を始めました。6時間30分で図面と記述を完成させなければいけないものをはじめは図面を描き上げるだけで10時間近くかかったため「このままでは合格できない」と絶望しました。それから平日は仕事が終わった後、土曜日は一日中、毎週日曜日には車で約2時間かけて資格学校に通い、ひたすら勉強をしました。9月の学科試験の合格発表で

合格していることがわかり、「このまま製図試験も一発合格してやる！」という気持ちが強くなりました。試験日の1週間前から仕事を休ませてもらい、試験に向けて朝から晩まで猛勉強しました。あつという間に、製図試験当日となり、時間内に完成させることはできましたが、約2か月間という短い期間では詰め切ることができず、結果はランクⅢでした。2年目も資格学校に通い、試験を受けましたが、結果は惜しくもランクⅡでした。角番の年となり、試験に落ちたらまた学科から受け直しという焦りの中、過去問や課題の分析、エスキス練習を繰り返し、試験日までの1年間で図面を約70枚描き上げ、「ここまで頑張ってきたんだから大丈夫!」という気持ちで試験に臨みました。試験直後は自信があったものの、SNSや試験の総評を見ていくうちに少しずつ自信を無くしてしまい、合格発表当日は合否の確認をせずに仕事をしていました。合格を知ったのは、資格学校の担当の方からの連絡でした。最初は信じられませんが、自分で番号を確認したことで合格したという実感と喜びが沸いてきました。また家族や親戚、職場の方に報告した際は、多くのお祝いの言葉を頂き、とても嬉しかったです。

一級建築士試験に約5年かけて合格することができましたが、この合格には家族や職場の支援など恵まれた環境で勉強できたことが大きかったと思っています。

今回の経験で最後までやり遂げる力を身につけることができたので、これからも謙虚な気持ちで仕事に取り組み、多くの経験を積み重ねた先で“一級建築士”として地元の発展に貢献していきたいです。

二級建築士合格と次への道のり

成田 慶郎（釧路支部）



初めまして。釧路支部の成田慶郎と申します。昨年度から挑戦し続けた二級建築士試験に、本年度、無事合格することができました。

私は大学卒業後、実務経験を積んで一級建築士を受験しておりましたが、試験勉強に十分な力を注ぐことができず、学科試験で不合格が続いていました。このまま一級建築士試験を受け続けても自分の力にならないのではないかと考え、まずは二級建築士を取得して、一級建築士に再挑戦しようと決意し、昨年度から二級建築士試験に挑戦し始めました。

昨年度は学科試験で不合格となったため、今年度こそは必ず合格するという強い気持ちで勉強に臨みました。勉強方法としては、過去問題を繰り返し解くことに加え、建築士会が開催する二級建築士講習会にも参加しました。特に講習会では、構造計算や施工の要点を体系的に学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。その成果もあり、足切りぎりぎりの科目もありましたが、無事に学科試験の合格ラインに達することができました。

学科試験終了後は、すぐに製図試験対策のため資格学校に通い始めました。大学卒業以来、手で図面を引く機会がなかったため、最初は図面を引ききるのに時間もかかりました。時間内に引けるようになるのか不安もありましたが、引き続けなければ時間は絶対に縮

まらないと思い、毎日図面を引き続けました。その結果、目標であった3時間で引ききれようになりました。

勉強期間の後半からはエスキスの対策が始まりましたが、時間内にまとめることがなかなかできず苦戦しました。苦手分野を克服するため、最後はエスキスの練習を徹底的に繰り返しました。

製図本試験では大きなサプライズはないと思いき、エスキスに取り掛かりましたが、計画規模がこれまで学習してきた内容にない形式であることに気づき、しばらく思考が止まってしまいました。最終的に十分にまとめきれないまま、見切り発車の状態で作図を始めることになりました。考えながら図面を引き、他の図面を修正するなど、心が折れそうになる場面もありました。しかし、描き上げなければ何も始まらないと自分に言い聞かせ、何としてでも完成させるという気持ちで最後まで引き続けました。

提出した図面には記載漏れやエスキスの詰め甘さもあり、来年もう一度製図試験を受ける覚悟もしていましたが、結果は合格でした。

振り返ると、学科試験・製図試験ともに最後まで諦めず問題と向き合い続けたことが、今回の結果につながったのだと思います。

合格発表当日は、家族や友人、職場の方々、建築士会の皆様から多くのお祝いの言葉をいただき、改めて多くの方々を支えられて合格できたのだと実感しました。

次は一級建築士合格の記事を書けるよう、日々精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

総合資格学院様合格祝賀会

青年委員会 委員 吉田 徹（札幌支部）

例年、1月最初の月曜である成人の日に行われる総合資格学院様が開催している合格祝賀会に本年もご招待頂きました。北海道建築士会を代表して副会長の針ヶ谷さん、青年委員長に加藤さん、そして札幌支部の青年の面々で建築士試験に合格した方々をお祝いする為に参加させていただきました。副会長の針ヶ谷さんの祝辞に始まり、総合資格学院様のご厚意で壇上にて建築士会のPRをさせていただきました。

我々建築士は多岐にわたる業務、新たな工法や技術、BIMやAIなど日々変化していく業界の中で、建築士と建築士会の役割についてお話させていただきました。

また、札幌支部青年委員会として、この祝賀会は非常に重要な事業と位置付けており、毎年新規の入会者をお迎えし、その中から青年事業に関心を持ってくださった方々が委員会活動に参加してくださっています。本年も数名の方を新たにお迎えすることができました。

懇談の時間には、合格者の皆様に対し、建築士会が担う役割について具体的にお話をさせていただきました。建築士会は単なる所属団体ではなく、継続的な研修や講習会、見学会等を通じて専門性の向上を図る場であり、また世代や立場を超えた仲間づくりの場でもあることをお伝えしました。実務の中で直面する課題や法改正への対応、新技術の導入など、日々変化する環境に対応していくためには、継続した学びと横のつながりが不可欠であること、青年委員会の活動では会

員同士が率直に意見交換を行い、互いに刺激を受けながら成長できる環境づくりを大切にしていることなどをご紹介します。

建築士資格はゴールではなく、社会的責任を担うスタートラインです。今後も合格者の皆様とのご縁を大切にし、ともに学び、ともに成長できる環境を築いてまいります。最後に、このような貴重な機会を毎年設けてくださっている総合資格学院様に心より感謝申し上げますとともに、合格者の皆様のこれからのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。改めまして、この度の建築士試験合格、誠にありがとうございます。



合格者集合写真



情報委員会 萩川 正人 (旭川支部)

私事ではありますが、2月で還暦を迎えました。現在釧路市と飛び地合併した音別町で生を受け、十勝の大樹町で幼少期を過ごし、帯広工業高校で建築を学び始め、大学入学を機に旭川の生活が始まり42年が過ぎました。当時旭川市は人口36万人、目指せ40万人、買物公園も多くのお店が建ち並び、活気がありました・・・仕事に追われ気づくと4年間学んだ大学が、札幌に移転その後統合され、買物公園は多くの店はシャッターで閉ざされ、商業施設の分散化により街の賑わいは失われつつありますが鉄道の高架事業、新駅舎、駅周辺再開発により鉄道の玄関は他に類を見ない最高の環境を手に入れました。



冬の旭川駅

駅の北側は買物公園そして南側は庭園に水辺があるロケーション（北彩都ガーデン）が広がり、春から夏そして秋は多くの植物で彩られ、散歩やランニングをするのに最高です。子供が小さいころには休日に2人で北彩都ガーデンに遊びに行き、種まき体験させてもらい、収穫しその野菜をいただいて帰ったこともあります。そして冬には、雪が降るともう一つの楽しみがあります。駅前の堤防はそり遊びの場所になり、クロスカントリー（歩くスキー）のコースが整備され、だれでも使用することができるようになっています。駅構内の旭川観光物産情報センターで有料ですがレンタルできますし、北彩都ガーデンセンターでは無料体験もできます。そして新雪の中をスノーシューで散策ができ忠別川の河川敷を小動物（多分キタキツネ）と同じように歩くことができます。30万都市の駅周辺でこのような体験ができるのは旭川市だけだと思います。ただこのような楽しみ方ができることを知っている市民は少なく、つらい冬を楽しく過ごすことを実践していくことは大切なことだと思います。北海道は広くその地域でしかできない楽しみ方はたくさんあると思います。冒頭話したように還暦を迎えこれからは、ゆとりを持った生活を送り地元の良さを体感していきたいです。



夏の旭川駅 (2015年)



北彩都ガーデンで種まき体験



収穫体験 (2015年)



河川敷の新雪をスノーシューで散策

根室支部

建築士会どうなるの雑談

支部長

山口 耐一



各支部会員の皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？

当支部は昨年総会後の懇親会で交流を深めましたが、例年行事の焼肉親睦会は実施しませんでした。中標津支部の全道大会には参加する事ができず、本当に申し訳なく思っております。

当支部会員も現在30名となり、30年前は100名の会員数で、青年部を中心に街の各種イベントに参加していましたが、高齢化・若い建築士の不足・資格があっても入会しない等、30年くらいで大きく

考え方も変わった様に思います。

これから多くの会員が現役を引退し、若い会員の絶対数は確実に減少していくでしょう。特に道央から遠距離に位置する支部では、存続すら出来ない状態になるでしょう。資格者の数は、札幌を中心とした都市部の方が多いと思いますので、入会率を伸ばせないでしょうか。地方の会員数の少ない支部では限界に近い数字になります。

2046年（約20年後）、当支部のある根室市の人口は14,000人（令和8年2月23,000人）に減少する予測です。現在の道東四支部が一つになる等考えられないでしょうか。また会員増加させるには、今後年配者の退会が増加するなか、会費の値上げが高い壁になると思

います。

現在、入会するメリットは何ですか？と聞かれても、答えが出ません。本部の方では、その答えを持つてるのでしょうか？

2046年90歳を迎える私の老婆心。。。

原発が再稼働し事故が起きたら、道央・道南は福島県の二の舞になる危険性は高いと思います。そこで、地理的に離れた道東に皆さん移住されたらどうでしょう？

（その前に根室釧路沖大地震で津波により道東沿岸が壊滅したらどうしましょう？）

つまらない独り言を書いて、お詫びします。

支部だよりの趣旨から大きくはずれましたね。

士別支部

都市計画の「衣替え」を待ちわびて

支部長

佐々木 誠



士別支部の佐々木です。私たちの街・士別は、サフォーク羊が戯れる丘陵地や、自動車メーカーの寒冷地テストコースが点在する広大な風景、そして国内屈指の厳しい冬の寒さで知られています。この地で実務に携わっていると、時に自然の厳しさと対峙し、時にその恩恵を受けながら空間づくりを追求する毎日に、建築士としてのやりがいを感じます。

しかし最近、現場でどうしても拭えない「違和感」を覚えることがあります。それは、目の前に広がる街の現実と、図面の上に引かれた「用途地域」という法的な境界線との間にある、大きなズレです。

現在の用途地域の多くは、人口が増え、街が拡大していた成長期に設定されたものです。少子高齢化が進む令和の今、当時の期待と現実乖離しつつあります。建築士として現場に立つと、そのズレ

は具体的な「不合理」となって現れます。

例えば、かつての賑わいを想定した準防火地域のエリア。今では建物がまばらでゆったりとした空き地が広がっているにもかかわらず、法規上は当時のままの耐火性能が求められます。周囲に延焼の恐れが少ない環境でも、法的な縛りによりコストをかけて網入りガラス等を選択せざるを得ません。今の街は、いわば「成長期に買った大きすぎる学生服」をずっと着続けているような状態です。サイズは余っているのに、古い型紙のせいでどうにも動きにくい。そんな持て余すような不自由さが、現代の合理的な家づくりを難しくさせているように感じます。

もちろん、この「サイズ感」を今の時代に合わせて仕立て直す動きは始まっています。しかし、都市のOSをアップデートするには、膨大な調査や準備に数年という歳月を要します。その期間を待てないクライアントに寄り添いながら、古いルールの中でいかに最善を尽くすのが当面の腕の見せ所ですが、私はこの「待ち時間」こそ

が、これからのまちづくりを深く考えるための貴重な準備期間になると捉えています。

この見直しを単なる「縮小への後始末」と捉えるべきではありません。これは士別を「今の私たちにちょうどいい、密度のある快適な都市」へと再構築するための、前向きなチャンスです。人口減少を「衰退」ではなく「最適化」と捉え直し、街の機能をギュッと中心に寄せ、歩いて暮らせるスケールに再編する。あるいは、空いた土地を都市のゆとりとして再定義する。そうすることで、維持管理コストを抑えつつ、住民同士のコミュニティが生まれやすい、持続可能なまちづくりが可能になります。

数年後に訪れるであろう新しい「衣替え」の瞬間、そこに並ぶのは、かつての拡大路線の焼き直しではなく、士別の風土と今の身の丈に適合した、誇り高い「新調された制服」であってほしい。そんな理想の街を再設計するための「伸びしろ」を楽しみながら、士別支部の仲間とともに現場の最前線から知恵を絞っていきたくと考えています。

2025年 第16回 高校生の建築甲子園 北海道札幌工業高等学校が「奨励賞」を受賞

日本建築士会連合会と共催で実施している「建築甲子園」。2025年度は、北海道から二校5作品の応募があり、予選を勝ち抜いた北海道札幌工業高等学校の「食と町が繋がる未来」が「奨励賞」を受賞しました。2月25日(水)に針ヶ谷副会長、松本常務理事、永井まちづくり委員長が生徒達へ賞状を手渡しました。



道士会の動き

本部の主な会議報告（3月）

◆第1回役員会

〈開催日〉3日(火)

- 1) 令和8年第1回理事会

◆専攻建築審査評議会

〈開催日〉5日(木)

- 1) 令和8年連合会への認定申請

◆第1回女性委員会

〈開催日〉7日(土)

- 1) 今年度の活動
- 2) その他

◆第1回理事会※すべて承認済

〈開催日〉10日(火)

- 1) 令和7年一般会計収支予算の補正及び流用(案)
- 2) 令和7年一般会計事業報告及び収支決算(案)
- 3) 令和7年特別会計事業報告及び収支決算(案)
- 4) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)
- 5) (一社)北海道建築士会第49回全道大会(宗谷大会)実施計画(案)
- 6) (一社)北海道建築士会第49回全道大会(宗谷大会)テーマ

◆第2回理事会※すべて承認済

〈開催日〉19日(木)

- 1) 会長、副会長、専務理事の選任
- 2) 統括理事及び常務理事の任命

◆全道青年委員会連絡会議

〈開催日〉21日(土)

- 1) 令和7年事業報告、決算報告
- 2) 令和8年事業計画、予算説明

本部の主な行事予定（4月）

11日(土) 第1回事業委員会

11日(土) まちづくり会議

18日(土) 第1回情報委員会

25日(土) 第1回災害対応委員会

編集後記

降っては溶けを繰り返す変調多い冬も終わりか？やっとなり春の季節となったのではないのでしょうか。新しい年度の始まりは、気持ち新たに一步を踏み出す良い機会でもあります。今月号では3月総会での各委員会の事業計画のご報告。士会入会された新たな仲間の資格取得奮闘記など、。今年も会員の皆さまの地域に根ざした活動や取り組み、建築への熱い思いをお伝えし、士会の魅力や可能性が感じられる月報をお届けしてまいりたいと思います。

情報委員会 奈良岡 修(札幌支部)

CPD認定プログラム(3月認定)

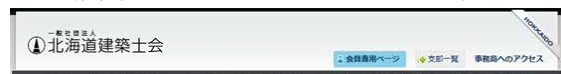
◆2026年北海道建築士会まちづくり会議

〈日程及び会場〉4月11日(土) 15:00~18:30
かでの2.7(札幌市)

〈単位数〉 3単位

〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中!



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■4月パスワード：Isi066

令和8年

(一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

①対象建物

令和4年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。

②対象者

本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)

③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

令和8年5月22日(金) 必着

応募資料

①申込書

所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。

②提出資料

図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.349」に掲載します。

※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

情報委員会委員長/前田 繁

副委員長/村山 賢司・立花智亜喜

委員/奈良岡 修・山川 力

津山 浩・椛川 正人

北海道建築士 No.344号

発行 令和8年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <https://www.h-ab.com/>